

Ⅲ 集計結果

Ⅲ 集計結果

パープルダイヤルでは、２月８日から３月２７日までの相談期間中に合計 23,460 件の電話を受け、そのうち 20,462 件について「相談対応表」に相談内容の記入を行った。以下の事業の結果についての分析は、「相談対応表」に記入を行ったものについての集計・分析である。

１ 全体の集計

（１）回線の種類別相談件数

20,462 件の内訳は、①女性相談者向け回線（②を除く）は 15,454 件（75.6%）、②急性期の性暴力被害女性向け回線は 2,216 件（10.8%）、③男性相談者向け回線は 1,814 件（8.9%）、④外国人相談者向け回線は 978 件（4.8%）であった。

「相談対応表」に記入されたもののうち、「無言・いたずら・苦情等」に該当するものが 3,114 件（15.2%）となっている。

表 1－1 回線の種類と件数

	合計		相談		無言・いたずら・苦情等	
	件数	%	件数	%	件数	%
①女性相談者向け回線	15,454	100.0	13,789	89.2	1,665	10.8
②急性期の性暴力被害女性向け回線	2,216	100.0	1,302	58.8	914	41.2
③男性相談者向け回線	1,814	100.0	1,378	76.0	436	24.0
④外国人相談者向け回線	978	100.0	879	89.9	99	10.1
合計	20,462	100.0	17,348	84.8	3,114	15.2

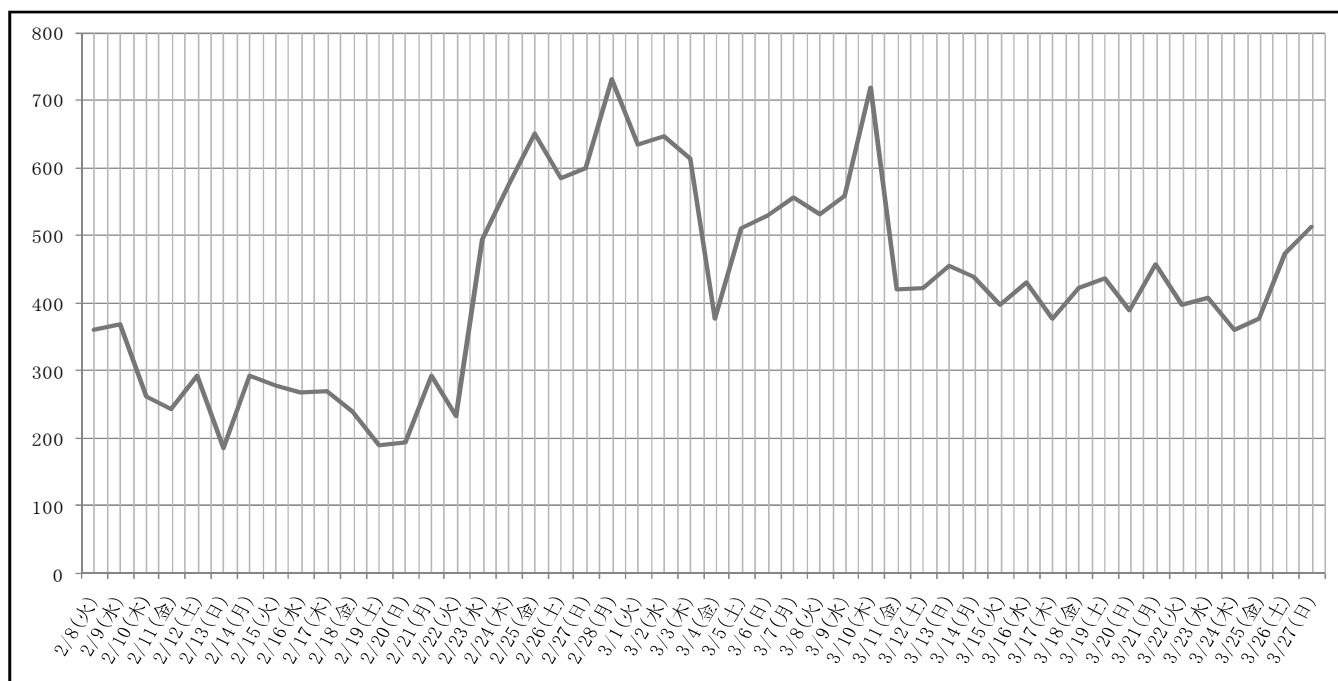
(2) 相談件数の推移

相談日別の相談件数は、テレビスポットの放送が始まった2月23日以降、大幅に増加している。

なお、3月4日（金）の相談件数が落ち込んでいるのは、電話システムの入替えにより、電話がつながりにくくなる不具合が生じたためと考えられる。

また、3月11日以降は、東日本大震災の影響により、全国的に通信規制が敷かれて電話がかかりにくくなるという状況が生じた。

図1-1 相談件数の推移

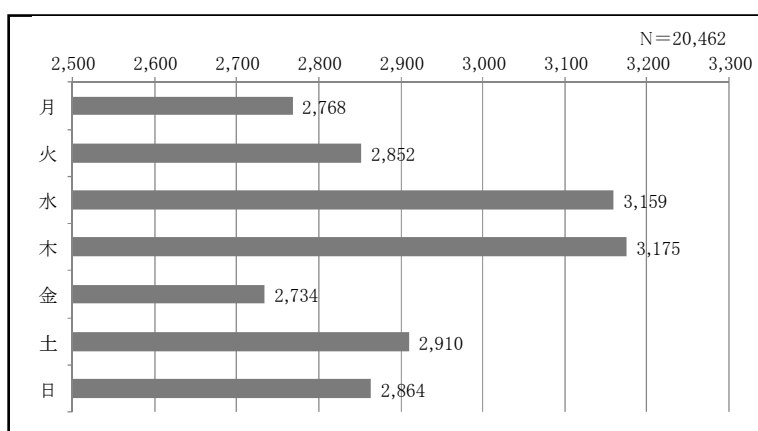


曜日別の相談件数については、月曜・火曜・金曜がやや少ないものの、曜日による大きな変化はみられない。

表1-2 曜日別相談件数

	件数	%
月	2,768	13.5
火	2,852	13.9
水	3,159	15.4
木	3,175	15.5
金	2,734	13.4
土	2,910	14.2
日	2,864	14.0
合計	20,462	100.0

図1-2 曜日別相談件数



(3) 相談の発信地

相談の発信地については、人口の多い地域からの相談が多くなっている。

表 1－3 発信地別相談件数（都道府県別）

	件数	%
北海道	632	3.1
青森県	104	0.5
岩手県	124	0.6
宮城県	310	1.5
秋田県	59	0.3
山形県	269	1.3
福島県	169	0.8
茨城県	735	3.6
栃木県	584	2.9
群馬県	572	2.8
埼玉県	984	4.8
千葉県	1,002	4.9
東京都	2,653	13.0
神奈川県	1,912	9.3
新潟県	244	1.2
富山県	106	0.5
石川県	63	0.3
福井県	78	0.4
山梨県	77	0.4
長野県	239	1.2
岐阜県	169	0.8
静岡県	401	2.0
愛知県	1,114	5.4
三重県	228	1.1
滋賀県	186	0.9
京都府	360	1.8
大阪府	1,867	9.1
兵庫県	774	3.8
奈良県	291	1.4
和歌山県	32	0.2
鳥取県	54	0.3
島根県	36	0.2
岡山県	365	1.8
広島県	306	1.5
山口県	275	1.3
徳島県	84	0.4
香川県	252	1.2
愛媛県	94	0.5
高知県	81	0.4
福岡県	878	4.3
佐賀県	206	1.0
長崎県	118	0.6
熊本県	103	0.5
大分県	86	0.4
宮崎県	91	0.4
鹿児島県	174	0.9
沖縄県	127	0.6
不明・無記入	794	3.9
合計	20,462	100.0

(4) 使用電話

相談者が利用した電話は、「固定電話」が 6,528 件 (31.9%)、「携帯電話」が 9,831 件 (48.0%)、「公衆電話」が 126 件 (0.6%) となっており、「固定電話」よりも「携帯電話」での相談のほうが 16%程度多くなっている。

表 1－4 使用電話

	件数	%
固定電話	6,528	31.9
携帯電話	9,831	48.0
公衆電話	126	0.6
不明・無記入	3,977	19.4
合計	20,462	100.0

(5) 相談経路

どのような経路でパープルダイヤルにつながったかについては、9,407 件（46.0%）が「自分で見つけた」となっている。

「自分で見つけた」場合の経路は、「テレビ」が 5,461 件（58.1%）、「インターネット」が 1,598 件（17.0%）、「新聞」が 741 件（7.9%）、「ラジオ」が 515 件（5.5%）となっている。

表 1－5 相談経路

	件数	%
紹介された	1,197	5.8
自分で見つけた	9,407	46.0
不明・無記入	9,858	48.2
合計	20,462	100.0

表 1－6 相談経路（自分で見つけた場合）

	件数	%
チラシ	213	2.3
インターネット	1,598	17.0
テレビ	5,461	58.1
ラジオ	515	5.5
新聞	741	7.9
雑誌	69	0.7
交通広告	32	0.3
その他	398	4.2
不明・無記入	380	4.0
合計	9,407	100.0

2 女性相談者向け回線の集計と分析

女性相談者向け回線には、配偶者からの暴力に関する相談 8,970 件、その他の相談が 4,819 件寄せられた。

表 2－1 女性相談者向け回線の相談状況

	全体		配偶者暴力	その他
	件数	%	件数	件数
相談	13,789	89.2	8,970	4,819
無言・いたづら・苦情等	1,665	10.8	—	—
合計	15,454	100.0	—	—

(1) 配偶者からの暴力に関する相談

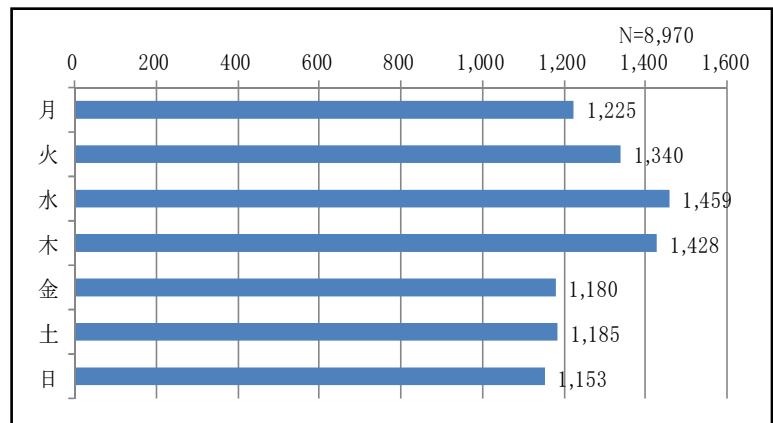
ア 曜日別相談件数

曜日別の相談件数については、相談期間中月曜日が 1 回少ないことを考慮すると、月曜日から木曜日にかけて大きな差は無く、それと比べて金曜日、土曜日、日曜日はわずかながら少ない。

表 2－2 曜日別相談件数

	件数	%
月	1,225	13.7
火	1,340	14.9
水	1,459	16.3
木	1,428	15.9
金	1,180	13.2
土	1,185	13.2
日	1,153	12.9
合計	8,970	100.0

図 2－1 曜日別相談件数



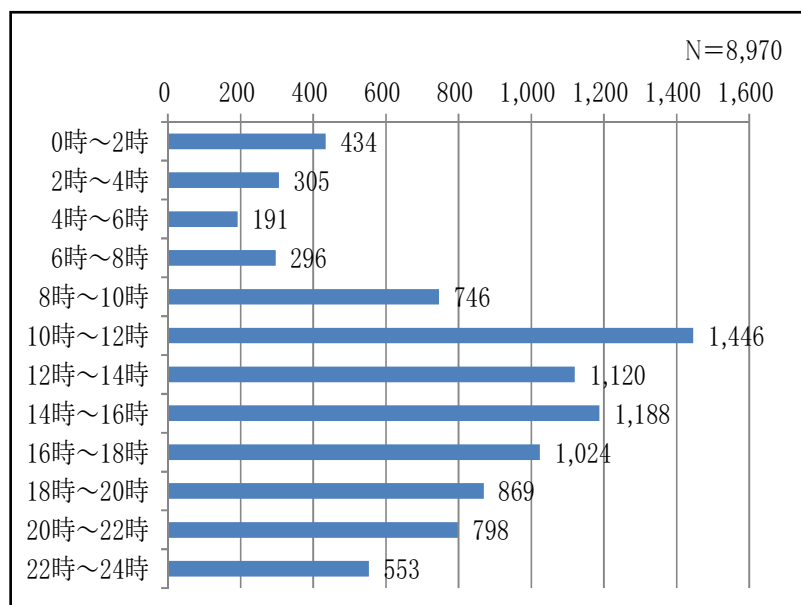
イ 相談開始時刻

相談開始時刻については、「10時～12時」から「16時～18時」が各時間帯で1,000件以上となっている。

表 2-3 相談開始時刻

	件数	%
0時～2時	434	4.8
2時～4時	305	3.4
4時～6時	191	2.1
6時～8時	296	3.3
8時～10時	746	8.3
10時～12時	1,446	16.1
12時～14時	1,120	12.5
14時～16時	1,188	13.2
16時～18時	1,024	11.4
18時～20時	869	9.7
20時～22時	798	8.9
22時～24時	553	6.2
合計	8,970	100.0

図 2-2 相談開始時刻



ウ 使用電話

相談者が利用した電話は、「固定電話」が3,297件(36.8%)、「携帯電話」が4,097件(45.7%)、「公衆電話」が46件(0.5%)となっており、「携帯電話」が「固定電話」よりも多く利用されている。

表 2-4 使用電話

	件数	%
固定電話	3,297	36.8
携帯電話	4,097	45.7
公衆電話	46	0.5
不明・無記入	1,530	17.1
合計	8,970	100.0

エ 相談経路

どのような経路でパープルダイヤルにつながったかについては、「自分で見つけた」が5,582件(62.2%)となっている。

表 2-5 相談経路

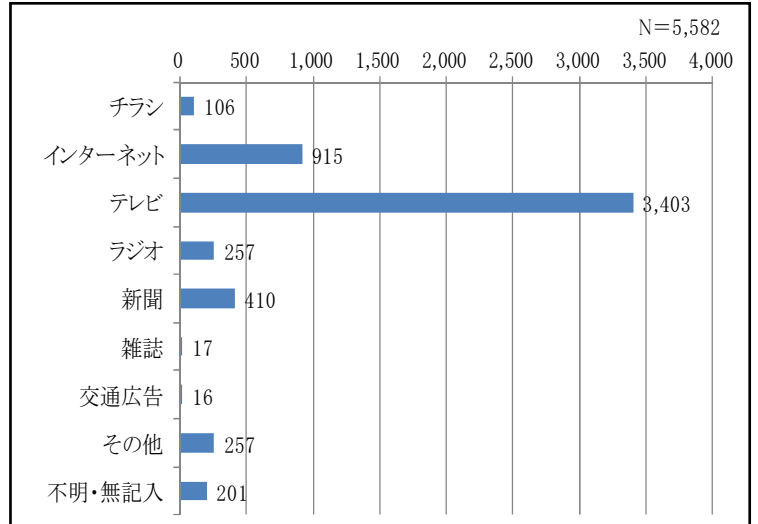
	件数	%
自分で見つけた	5,582	62.2
紹介された	619	6.9
不明・無記入	2,769	30.9
合計	8,970	100.0

「自分で見つけた」場合の経路は、「テレビ」が3,403件(61.0%)、「インターネット」が915件(16.4%)、「新聞」が410件(7.3%)、「ラジオ」が257件(4.6%)となっている。

表2-6 相談経路（自分で見つけた）

	件数	%
チラシ	106	1.9
インターネット	915	16.4
テレビ	3,403	61.0
ラジオ	257	4.6
新聞	410	7.3
雑誌	17	0.3
交通広告	16	0.3
その他	257	4.6
不明・無記入	201	3.6
合計	5,582	100.0

図2-3 相談経路（自分で見つけた）



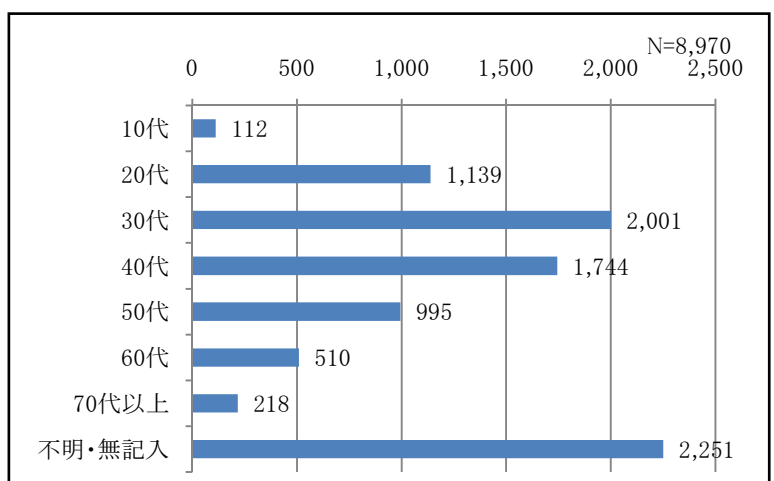
オ 相談者の年代

相談者の年代は、「30代」2,001件(22.3%)をピークとして、「10代」から「70代以上」まで幅広い年代から相談が寄せられている。

表2-7 年代別相談件数

	件数	%
10代	112	1.2
20代	1,139	12.7
30代	2,001	22.3
40代	1,744	19.4
50代	995	11.1
60代	510	5.7
70代以上	218	2.4
不明・無記入	2,251	25.1
合計	8,970	100.0

図2-4 年代別相談件数



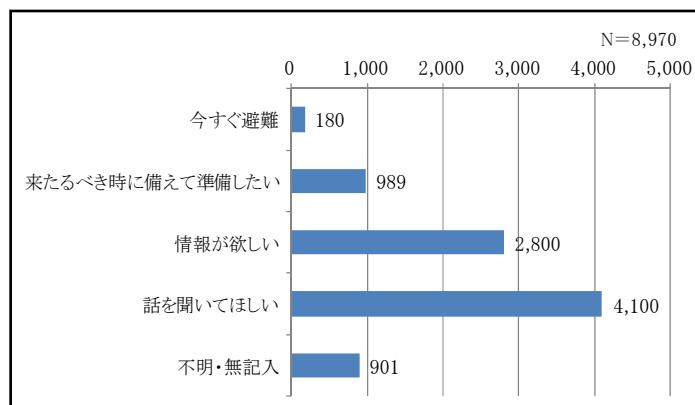
カ 主訴（相談の目的）

相談の主訴は、「話を聞いてほしい」4,100件(45.7%)が最も多く、次いで、「情報がほしい」2,800件(31.2%)、「来たるべき時に備えて準備したい」989件(11.0%)、「今すぐ避難」180件(2.0%)となっている。

表 2－8 主訴別相談件数

	件数	%
今すぐ避難	180	2.0
来たるべき時に備えて準備したい	989	11.0
情報が欲しい	2,800	31.2
話を聞いてほしい	4,100	45.7
不明・無記入	901	10.0
合計	8,970	100.0

図 2－5 主訴別相談件数



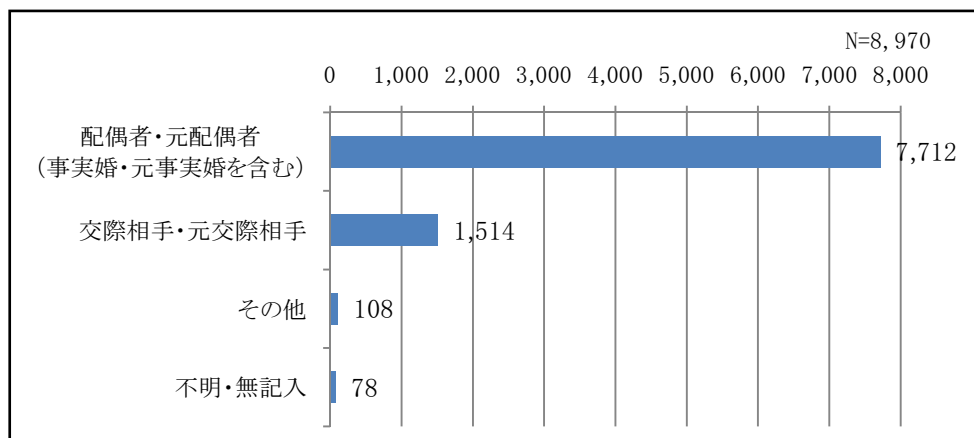
キ 被害者と加害者との関係

被害者と加害者との関係は、「配偶者・元配偶者（事実婚・元事実婚を含む）」が7,712件(85.9%)、「交際相手・元交際相手」は1,514件(16.9%)となっている。

表 2－9 加害者との関係

	件数	%
配偶者・元配偶者 （事実婚・元事実婚を含む）	7,712	85.9
交際相手・元交際相手	1,514	16.9
その他	108	1.2
不明・無記入	78	0.9
合計	8,970	100.0

図 2－6 加害者との関係



ク 暴力の形態

暴力の形態は、「精神的攻撃」6,812件(75.9%)が最も多く、次いで、「身体的暴行」4,563件(50.9%)、「性的強要」1,458件(16.3%)となっている。

表2-10 暴力の形態（複数回答）

	身体的暴行		精神的攻撃		性的強要	
	件数	%	件数	%	件数	%
あり	4,563	50.9	6,812	75.9	1,458	16.3
なし	3,967	44.2	1,718	19.2	7,072	78.8
不明・無記入	440	4.9	440	4.9	440	4.9
合計	8,970	100.0	8,970	100.0	8,970	100.0

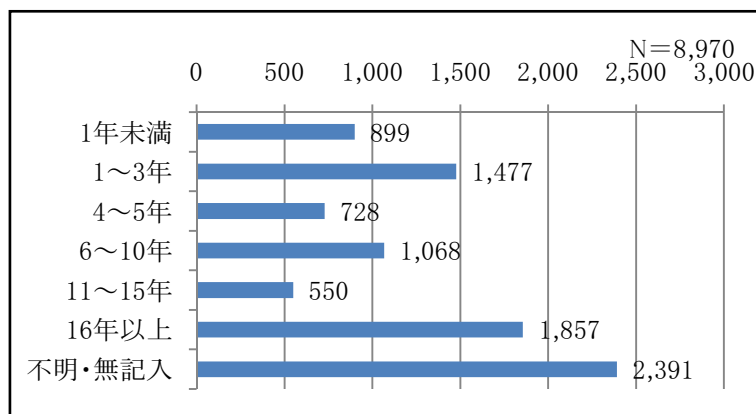
ケ 暴力の継続年数

暴力をふるわれた継続年数は「16年以上」が1,857件(20.7%)と最も多く、相談者の3割近く(26.8%)が10年間以上暴力を受けている。

表2-11 暴力の継続年数

	件数	%
1年未満	899	10.0
1～3年	1,477	16.5
4～5年	728	8.1
6～10年	1,068	11.9
11～15年	550	6.1
16年以上	1,857	20.7
不明・無記入	2,391	26.7
合計	8,970	100.0

図2-7 暴力の継続年数



コ 相談者の状況

相談者が何らかの障害を持っているかどうかについて、「あり」が363件(4.0%)、「なし」が1,436件(16.0%)となっている。

表2-12 障害の有無

	件数	%
あり	363	4.0
なし	1,436	16.0
不明・無記入	7,171	79.9
合計	8,970	100.0

相談者のうち加害者と「同居」しているは3,483件(38.8%)、「別居」しているは1,604件(17.9%)となっている。

表 2-13 生活形態

	件数	%
同居	3,483	38.8
別居	1,604	17.9
不明・無記入	3,883	43.3
合計	8,970	100.0

相談者のうち就労が「あり」は32件(24.9%)、「なし」は3,114件(34.7%)となっている。

表 2-14 就労の有無

	件数	%
あり	2,232	24.9
なし	3,114	34.7
不明・無記入	3,624	40.4
合計	8,970	100.0

相談者のうち、生活保護の受給が「あり」は221件(2.5%)、「なし」は2,188件(24.4%)となっている。

また、収入が「あり」が1,474件(16.4%)、収入が「なし」が1,597件(17.8%)となっている。

表 2-15 生活保護受給の有無

	件数	%
あり	221	2.5
なし	2,188	24.4
不明・無記入	6,561	73.1
合計	8,970	100.0

表 2-16 収入の有無

	件数	%
あり	1,474	16.4
なし	1,597	17.8
不明・無記入	5,899	65.8
合計	8,970	100.0

相談者のうち子どもが「あり」は4,823件(53.8%)、子どもが「なし」は1,552件(17.3%)となっている。

子どもがいる場合の末子の年齢は小学生が多く、858件(17.8%)であり、乳幼児を抱えて暴力を受けている人(5歳以下)は1,229件(25.5%)となっている。

表2-17 子どもの有無

	件数	%
あり	4,823	53.8
なし	1,552	17.3
不明・無記入	2,595	28.9
合計	8,970	100.0

表2-18 子どもがいる場合(末子の年齢)

	件数	%
1歳未満	294	6.1
1～3歳	623	12.9
4～5歳	312	6.5
6～12歳	858	17.8
13～17歳	544	11.3
18～25歳	378	7.8
25歳以上	251	5.2
不明・無記入	1,563	32.4
合計	4,823	100.0

サ 暴力による身体的・精神的影響

暴力による身体的・精神的影響は、「不安」3,322件(37.0%)、「低い自己肯定感」2,116件(23.6%)、「うつ」1,822件(20.3%)、「不眠」1,436件(16.0%)が多くなっている。その他、「体の痛み」529件(5.9%)、「食欲不振」527件(5.9%)、「パニック発作」387件(4.3%)、「PTSD」382件(4.3%)、「薬がはなせない」380件(4.2%)、「自殺企図」332件(3.7%)となっている。

表2-19 暴力による身体的・精神的影響（複数回答）

	記憶があいまい		低い自己肯定感		うつ		PTSD	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
あり	215	2.4	2,116	23.6	1,822	20.3	382	4.3
なし	5,428	60.5	3,527	39.3	3,819	42.6	5,260	58.6
不明・無記入	3,327	37.1	3,327	37.1	3,329	37.1	3,328	37.1
合計	8,970	100.0	8,970	100.0	8,970	100.0	8,970	100.0

	不眠		食欲不振		自殺企図		薬がはなせない	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
あり	1,436	16.0	527	5.9	332	3.7	380	4.2
なし	4,206	46.9	5,115	57.0	5,309	59.2	5,262	58.7
不明・無記入	3,328	37.1	3,328	37.1	3,329	37.1	3,328	37.1
合計	8,970	100.0	8,970	100.0	8,970	100.0	8,970	100.0

	体重の増減		パニック発作		体の痛み		めまい	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
あり	240	2.7	387	4.3	529	5.9	186	2.1
なし	5,401	60.2	5,254	58.6	5,113	57.0	5,454	60.8
不明・無記入	3,329	37.1	3,329	37.1	3,328	37.1	3,330	37.1
合計	8,970	100.0	8,970	100.0	8,970	100.0	8,970	100.0

	自傷行為		子どもへの虐待		し癖		不安	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
あり	115	1.3	232	2.6	29	0.3	3,322	37.0
なし	5,526	61.6	5,408	60.3	5,612	62.6	2,319	25.9
不明・無記入	3,329	37.1	3,330	37.1	3,329	37.1	3,329	37.1
合計	8,970	100.0	8,970	100.0	8,970	100.0	8,970	100.0

	その他	
	件数	%
あり	886	9.9
なし	4,750	53.0
不明・無記入	3,334	37.2
合計	8,970	100.0

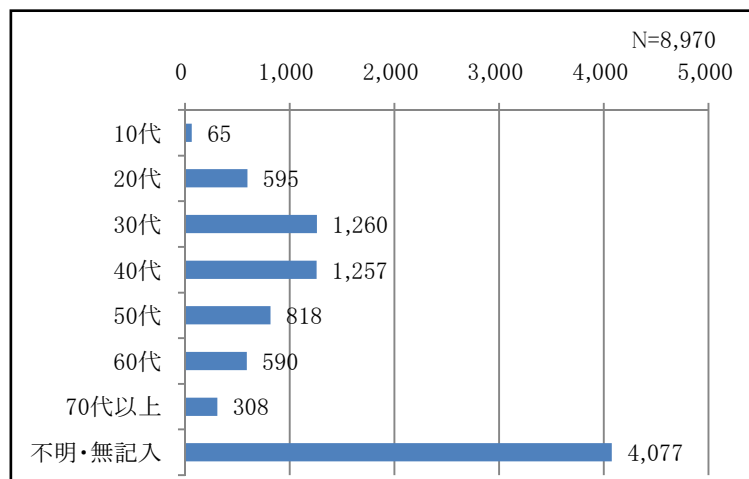
シ 加害者の年代

加害者の年代は、「30代」1,260件(14.0%)、「40代」1,257件(14.0%)、「50代」818件(9.1%)となっている。

表 2-20 加害者の年代

	件数	%
10代	65	0.7
20代	595	6.6
30代	1,260	14.0
40代	1,257	14.0
50代	818	9.1
60代	590	6.6
70代以上	308	3.4
不明・無記入	4,077	45.4
合計	8,970	100.0

図 2-8 加害者の年代



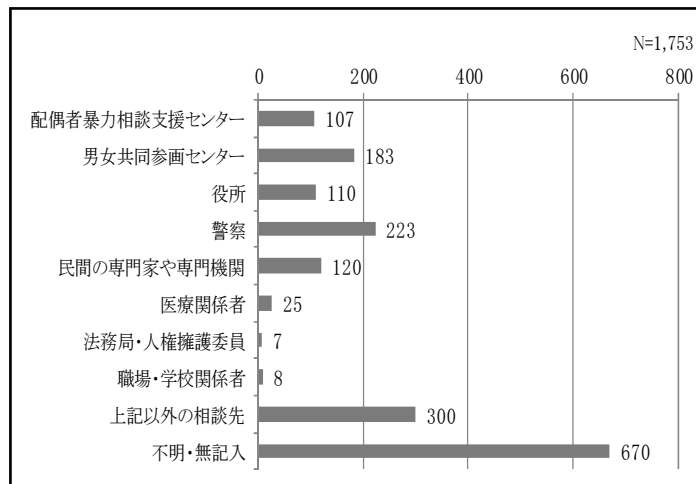
ス パープルダイヤルより以前に支援を受けた経験

パープルダイヤルより以前に「支援を受けた経験がある」は1,753件(19.5%)、「支援を受けた経験がない」は3,669件(40.9%)であった。今回の相談が初めて支援につながった人が多い。

表 2-21 支援を受けた経験の有無

	件数	%
あり	1,753	19.5
なし	3,669	40.9
不明・無記入	3,548	39.6
合計	8,970	100.0

図 2-9 支援を受けた経験がある場合



これまでに警察へ通報したことがあるかどうかについて、「あり」は1,189件(13.3%)、「なし」は2,124件(23.7%)となっている。

表2-22 警察への通報の有無

	件数	%
あり	1,189	13.3
なし	2,124	23.7
不明・無記入	5,657	63.1
合計	8,970	100.0

これまでに保護命令の申立てをおこなったことがあるかどうかについて、「あり」は107件(1.2%)、「なし」は2,099件(23.4%)となっている。

保護命令の申立てをおこなったことが「あり」のうち、「1年以内」は12件となっている。

表2-23 保護命令申立ての有無

	件数	%
あり	107	1.2
なし	2,099	23.4
不明・無記入	6,764	75.4
合計	8,970	100.0

表2-24 保護命令申立ての時期時期

	件数	%
1年以内	12	11.2
1～3年前	8	7.5
3～5年前	1	0.9
5～10年前	3	2.8
不明・無記入	83	77.6
合計	107	100.0

セ パープルダイヤルを通じておこなった支援の内容

パープルダイヤルを通じておこなった支援の内容は、「リファー先の紹介」4,360件（48.6%）が最も多く、次いで、「傾聴」3,849件（42.9%）、「情報提供」2,870件（32.0%）、「心理ガイダンス」1,830件（20.4%）となっている。

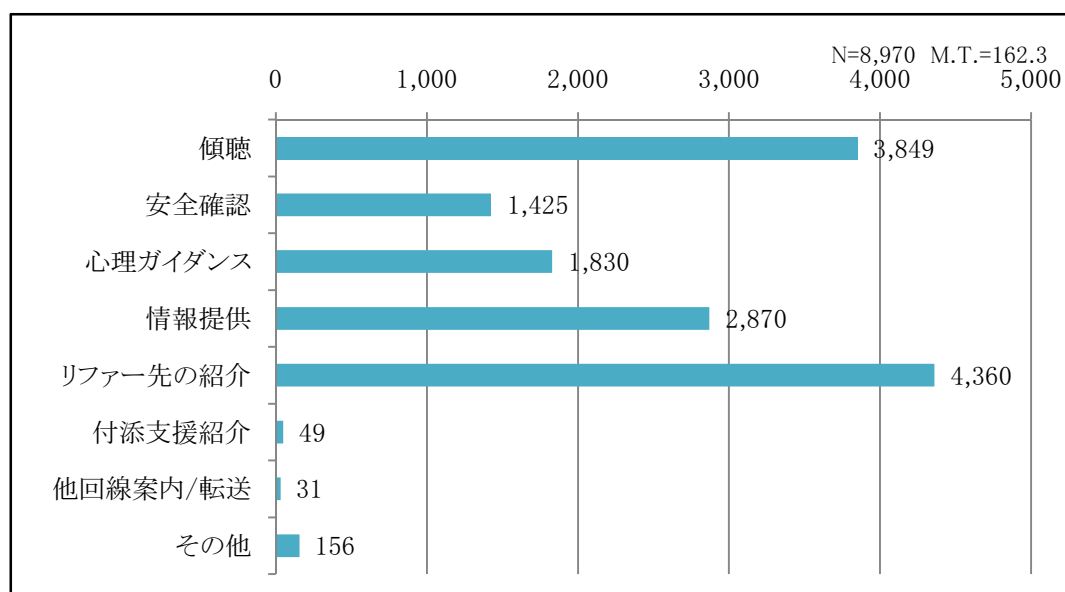
なお、本報告書では、「心理ガイダンス」（＝心理教育）という言葉は「（災害・事件・事故）暴力等の被害によってトラウマ（心的外傷）を体験した人に対して、その後におこる症状やその意味・対処法などを説明することによって、被害者の不安や孤立感・自責感をやわらげ、回復への見通しを持つことができるように、正しい知識や情報を伝えること」の意味として用いている。

表2-25 支援の内容（複数回答）

	傾聴		安全確認		心理ガイダンス		情報提供	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
あり	3,849	42.9	1,425	15.9	1,830	20.4	2,870	32.0
なし	4,862	54.2	7,286	81.2	6,882	76.7	5,842	65.1
不明・無記入	259	2.9	259	2.9	258	2.9	258	2.9
合計	8,970	100.0	8,970	100.0	8,970	100.0	8,970	100.0

	リファー先の紹介		付添支援紹介		他回線案内/転送		その他	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
あり	4,360	48.6	49	0.5	31	0.3	156	1.7
なし	4,353	48.5	8,663	96.6	8,681	96.8	8,555	95.4
不明・無記入	257	2.9	258	2.9	258	2.9	259	2.9
合計	8,970	100.0	8,970	100.0	8,970	100.0	8,970	100.0

図2-10 支援の内容（複数回答）



紹介した相談窓口、支援窓口は、「男女共同参画センター」1,544件(35.4%)が最も多く、次いで、「配偶者暴力相談支援センター」807件(18.5%)、「法テラス」449件(10.3%)、「配偶者暴力被害者支援民間団体」272件(6.2%)、「警察相談窓口」254件(5.8%)、「婦人相談所」250件(5.7%)となっている。

表2-26 紹介した相談窓口、支援窓口（リファー先）

	件数	%
男女共同参画センター	1,544	35.4
配偶者暴力相談支援センター	807	18.5
市町村配偶者暴力相談窓口	61	1.4
婦人相談所	250	5.7
婦人保護施設	7	0.2
福祉事務所	139	3.2
配偶者暴力被害者支援民間団体	272	6.2
ステップハウス	40	0.9
性暴力被害者支援民間団体	13	0.3
医療機関	2	0
児童相談所・子ども家庭支援センター	67	1.5
民間の母子支援団体	4	0.1
保健所	28	0.6
精神保健福祉センター	80	1.8
いのちの電話	12	0.3
自殺防止センター	1	0
カウンセリングルーム等	81	1.9
警察相談窓口	254	5.8
犯罪被害者ホットライン	5	0.1
法テラス	449	10.3
弁護士会・弁護士	49	1.0
犯罪被害者支援センター	6	0.1
ハローワーク	3	0.1
セクハラ相談窓口	1	0
外国語相談対応民間団体	1	0
駐日大使館	1	0
セクシュアルマイノリティ相談民間団体	7	0.2
男性相談窓口・男性相談民間団体	10	0.2
その他	69	1.6
不明・無記入	97	2.2
合計	4,360	100.0

(2) 配偶者からの暴力以外の相談

ア 相談内容別相談件数

女性相談者向け回線には、配偶者からの暴力以外の相談が 4,819 件寄せられた。このうち、(過去の) 強姦・強制わいせつ、人身取引、セクハラ、ストーカー行為に関する相談は、1,536 件であった。

表 2-27 相談内容別相談件数

	件数	%
強姦・強制わいせつ	1,220	25.3
人身取引	5	0.1
セクハラ	203	4.2
ストーカー行為	108	2.2
小計	1,536	31.8
不明・無記入	2,880	68.2
合計	4,819	100.0

以下、「強姦・強制わいせつ」、「人身売買」、「セクハラ」、「ストーカー行為」に関する相談について分析する。

イ 被害者と加害者との関係

被害者と加害者との関係は、「知っている人」が 1,216 件 (79.2%) となり、「知らない人」124 件 (8.1%) を大きく上回った。

表 2-28 加害者との関係別相談件数

	件数	%
知っている人	1,216	79.2
家族 (①)	440	28.6
友人	91	5.9
上記以外の知人等 (②)	685	44.6
知らない人	124	8.1
不明・無記入	196	12.8
合計	1,536	100.0

表 2-29 家族 (①) の内訳

	件数	%
親 (義理含む)	313	71.1
娘・息子 (義理含む)	23	5.2
きょうだい (義理含む)	56	12.7
上記以外の親族	48	10.9
合計	440	100.0

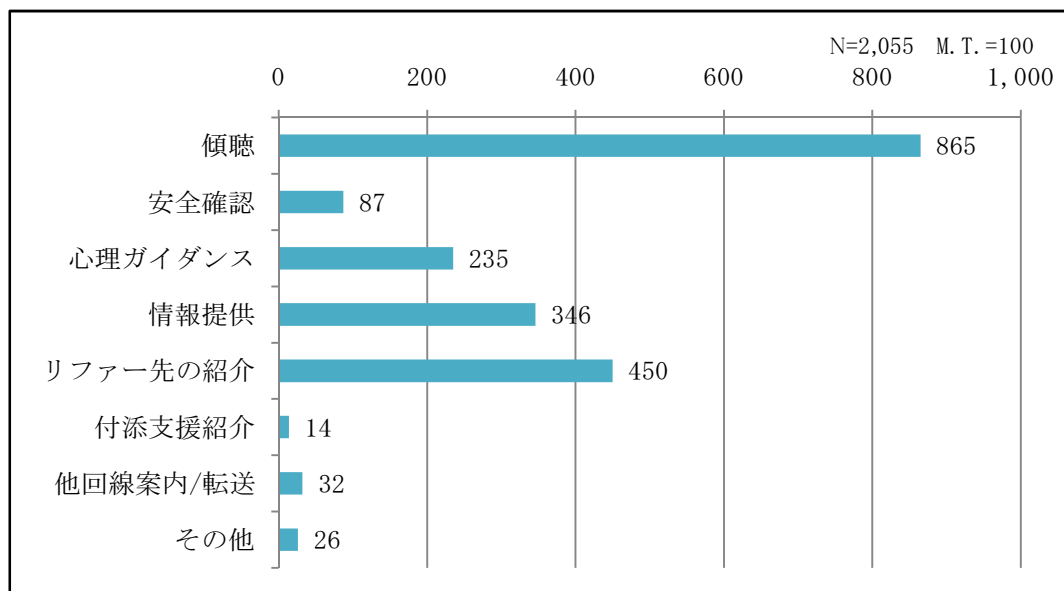
表 2-30 上記以外の知人等 (②) の内訳

	件数	%
職場関係者	213	31.1
学校関係者	70	10.2
地域の関係者	37	5.4
上記以外の知人・関係者	239	34.9
不明・無記入	126	18.4
合計	685	100.0

イ パープルダイヤルを通じておこなった支援の内容

パープルダイヤルを通じておこなった支援の内容（複数回答）は、「傾聴」865件（56.3%）が最も多く、次いで、「リファー先の紹介」450件（29.3%）、「情報提供」346件（22.5%）となっている。

図2-11 支援の内容（複数回答）



紹介した相談窓口、支援窓口は、「男女共同参画センター」131件（29.1%）が最も多く、次いで、「性暴力被害者支援民間団体」44件（9.8%）、「カウンセリングルーム等」36件（8.0%）、「警察相談窓口」33件（7.3%）となっている。

3 急性期の性暴力被害女性向け回線の集計と分析

被害からおおよそ1年以内の性暴力被害女性向け回線には、1,302件の相談が寄せられ、そのうち540件が「強姦・強制わいせつ」に関するものであった。以下「強姦・強制わいせつ」に関する相談について分析する。

表3-1 急性期の性暴力被害女性向け回線の相談状況

	全体		強姦・強制わいせつ	その他
	件数	%	件数	件数
相談	1,302	58.8	540	762
無言・いたずら・苦情等	914	41.2	—	—
合計	2,216	100.0	—	—

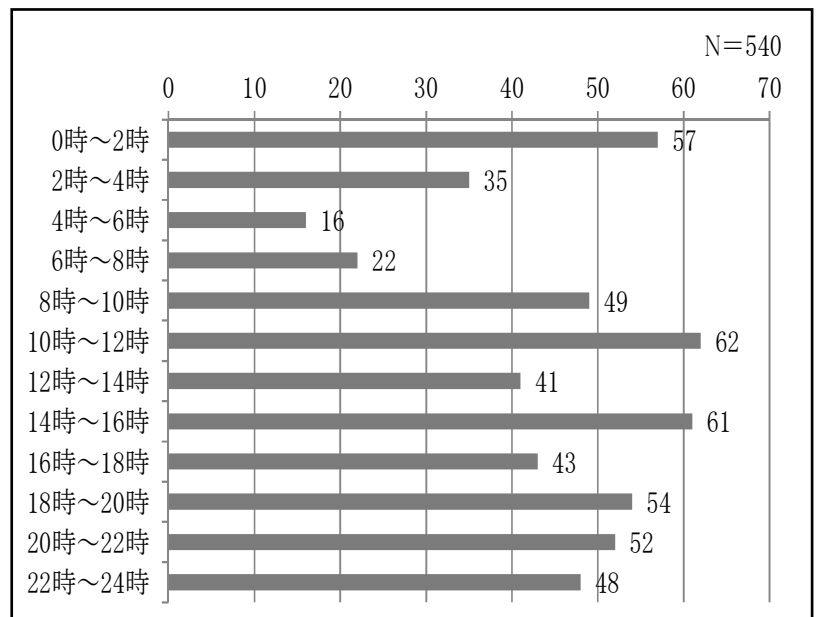
ア 相談開始時刻

相談開始時刻については、22時から翌8時の間に開始された相談が全体の約3割（33.0%）となっている。

表3-2 相談開始時刻

	件数	%
0時～2時	57	10.6%
2時～4時	35	6.5%
4時～6時	16	3.0%
6時～8時	22	4.1%
8時～10時	49	9.1%
10時～12時	62	11.5%
12時～14時	41	7.6%
14時～16時	61	11.3%
16時～18時	43	8.0%
18時～20時	54	10.0%
20時～22時	52	9.6%
22時～24時	48	8.9%
合計	540	100.0%

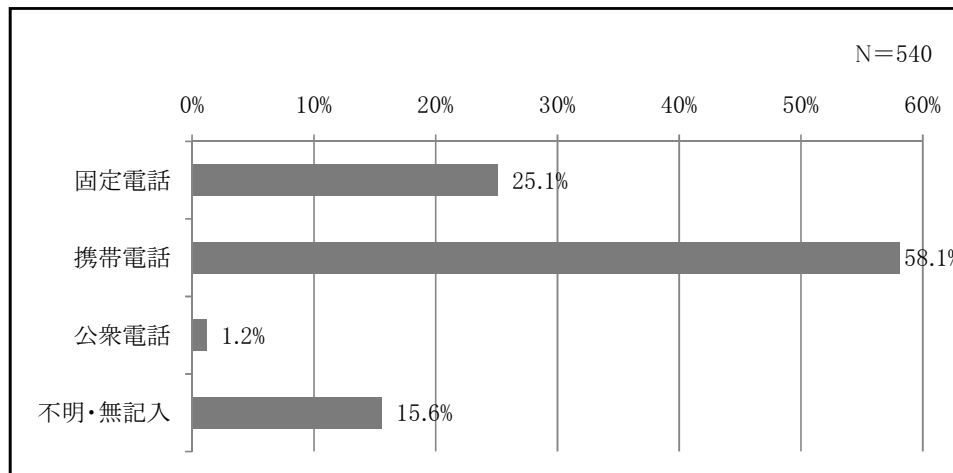
図3-1 相談開始時刻



イ 使用電話

相談者が利用した電話は、「固定電話」が 25.1%、「携帯電話」が 58.1%、「公衆電話」が 1.2% となっており、「携帯電話」が「固定電話」よりも多く利用されている。

図 3-2 使用電話



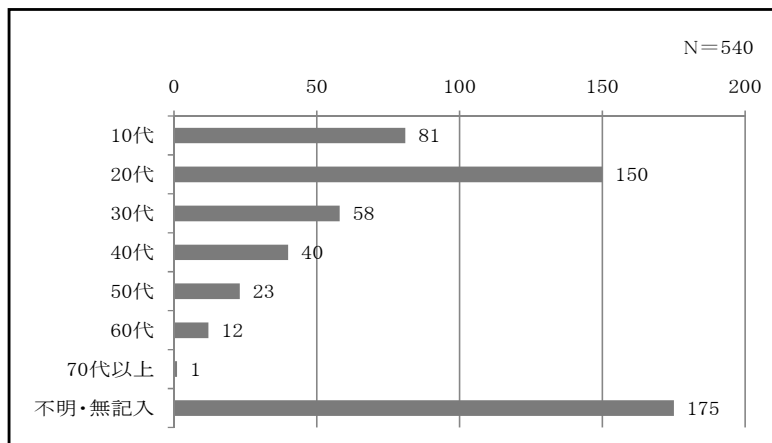
ウ 相談者の年代

相談者の年代は、「10代」(15.0%)、「20代」(27.8%)、「30代」(10.7%)と、30代以下が半数以上(53.5%)を占めており、他の相談と比べて若年層の割合が高い傾向となっている。

表 3-3 年代別相談件数

	件数	%
10代	81	15.0
20代	150	27.8
30代	58	10.7
40代	40	7.4
50代	23	4.3
60代	12	2.2
70代以上	1	0.2
不明・無記入	175	32.4
合計	540	100.0

図 3-3 年代別相談件数



エ 被害の時期

被害の時期については、「72 時間以内」が 49 件（9.1%）、「1 週間以内」が 39 件（7.2%）、「1 週間以上前」が 296 件（54.8%）となっている。「1 週間以上前」では「1 週間～3 ヶ月」の割合が高くなっている。

表 3-4 被害の時期

	件数	%
72 時間以内	49	9.1
1 週間以内	39	7.2
1 週間以上前	296	54.8
不明・無記入	156	28.9
合計	540	100.0

図 3-4 被害の時期

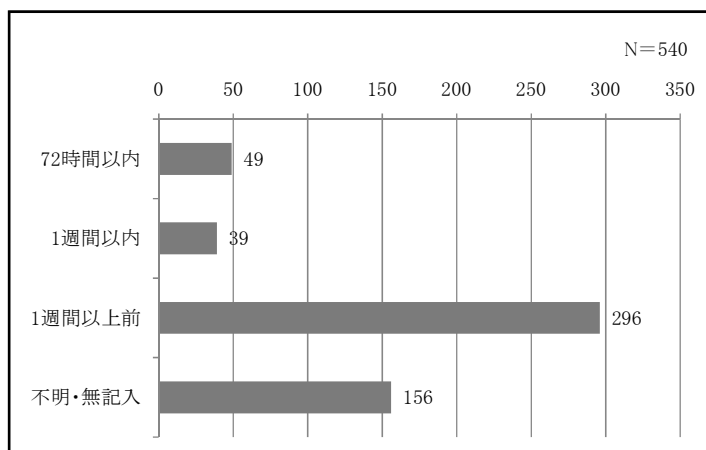
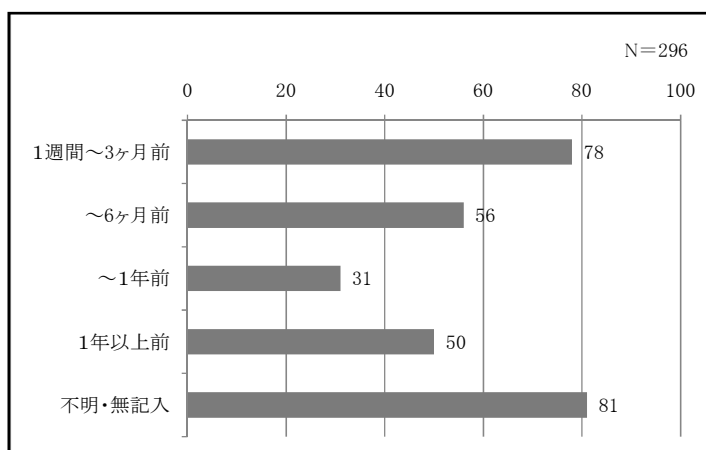


表 3-5 1 週間以上前の被害

	件数	%
1 週間～3 ヶ月前	78	26.4
～6 ヶ月前	56	18.9
～1 年前	31	10.5
1 年以上前	50	16.9
不明・無記入	81	27.4
合計	296	100.0

図 3-5 1 週間以上前の被害



オ 被害にあった場所

被害にあった場所については、「被害者の自宅」73件（13.5%）が最も多く、次いで、「加害者の自宅」28件（5.2%）、「道路上」14件（2.6%）、「職場・アルバイト先」「電車等乗り物内」12件（2.2%）となっている。

表3-6 被害にあった場所

	件数	%
被害者の自宅	73	13.5
加害者の自宅	28	5.2
職場・アルバイト先	12	2.2
学校・大学等の教育施設	9	1.7
生活していた（いる）施設	3	0.6
道路上	14	2.6
公園・空き地等	4	0.7
電車等乗り物内	12	2.2
その他	83	15.4
不明・無記入	302	55.9
合計	540	100.0

カ 被害者と加害者との関係

被害者と加害者との関係は、「知っている人」が310件（57.4%）となり、「知らない人」85件（15.7%）を大きく上回った。

表3-7 加害者との関係別相談件数

	件数	%
知っている人	310	57.4
配偶者・元配偶者	18	3.3
交際相手・元交際相手	30	5.6
家族（①）	76	14.1
上記以外の知人等（②）	186	34.4
知らない人	85	15.7
不明・無記入	145	26.9
合計	540	100.0

表3-8 家族（①）の内訳

	件数	%
親（義理含む）	44	57.9
きょうだい（義理含む）	11	14.5
上記以外の親族	21	27.6
合計	76	100.0

表3-9 上記以外の知人等（②）の内訳

	件数	%
職場関係者	41	22.0
学校関係者	18	9.7
地域の関係者	7	3.8
上記以外の知人・関係者	79	42.5
不明・無記入	41	22.0
合計	186	100.0

キ 暴力による身体的・精神的影響

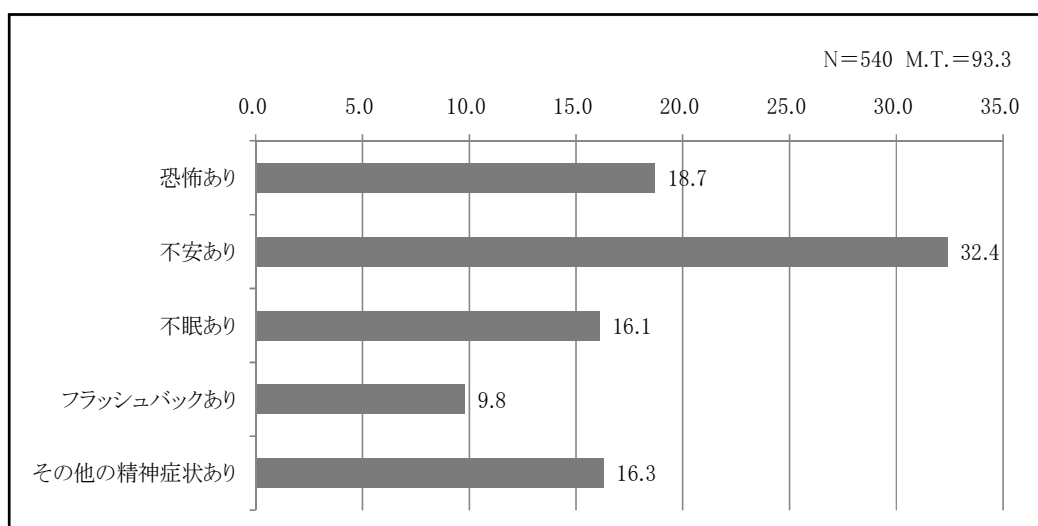
「強姦・強制わいせつ」による身体的影響は、何らかの外傷、痛み等を有しているかどうかについて、「あり」が33件（6.1%）、「なし」が171件（31.7%）となっている。

表3-10 外傷、痛み等の有無

	件数	%
あり	33	6.1
なし	171	31.7
不明・無記入	336	62.2
合計	540	100.0

「強姦・強制わいせつ」による精神的影響がある場合について、「不安あり」が32.4%、「恐怖あり」が18.7%、「不眠あり」が16.1%となっている。

図3-6 精神的影響について（複数回答）



ク 他の機関等への相談の有無

「強姦・強制わいせつ」の被害について、パープルダイヤル以前に相談したことがあるかどうかについて、「あり」が121件（22.4%）、「なし」が134件（24.8%）となっている。

これまでの相談先については、「相談機関」61件（45.5%）が最も多く、次いで、「友人」37件（27.6%）、「家族」17件（12.7%）となっている。

さらに「相談機関」の内訳を見てみると、「警察」13件（21.3%）、「医療関係者」12件（19.7%）、「民間の専門家や専門機関」11件（18.0%）、「男女共同参画センター」6件（9.8%）となっている。

表3-11 相談経験の有無 N=540

	件数	%
あり	121	22.4
なし	134	24.8
不明・無記入	285	52.8
合計	540	100.0

表3-12 相談経験がある場合の相談先

	件数	%
相談機関	61	45.5
友人	37	27.6
家族	17	12.7
その他	7	5.2
不明・無記入	12	9.0
	134	100.0

表3-13 相談機関の内訳

	件数	%
男女共同参画センター	6	9.8
警察	13	21.3
民間の専門家や専門機関	11	18.0
医療関係者	12	19.7
職場・学校関係者	5	8.2
上記以外の相談先	12	19.6
不明・無記入	2	3.3
合計	61	100.0

「強姦・強制わいせつ」の相談のうち、警察への通報については、「済」が77件14.3%、「未」が205件（38.0%）となっている。

通報が「未」のうち、「これから通報する予定」は13件、「したくない」は59件となっている。

表3-14 警察への通報

	件数	%
未	205	38.0
済	77	14.3
不明・無記入	258	47.8
合計	540	100.0

表3-15 警察への通報をしていない場合

	件数	%
したくない	59	28.8
これからする予定	13	6.3
不明・無記入	133	64.9
合計	205	100.0

「強姦・強制わいせつ」の相談のうち、婦人科受診については、「済」が 69 件（12.8%）、「未」が 147 件（27.2%）となっている。

表 3－16 婦人科を受診したか

	件数	%
未	147	27.2
済	69	12.8
不明・無記入	324	60.0
合計	540	100.0

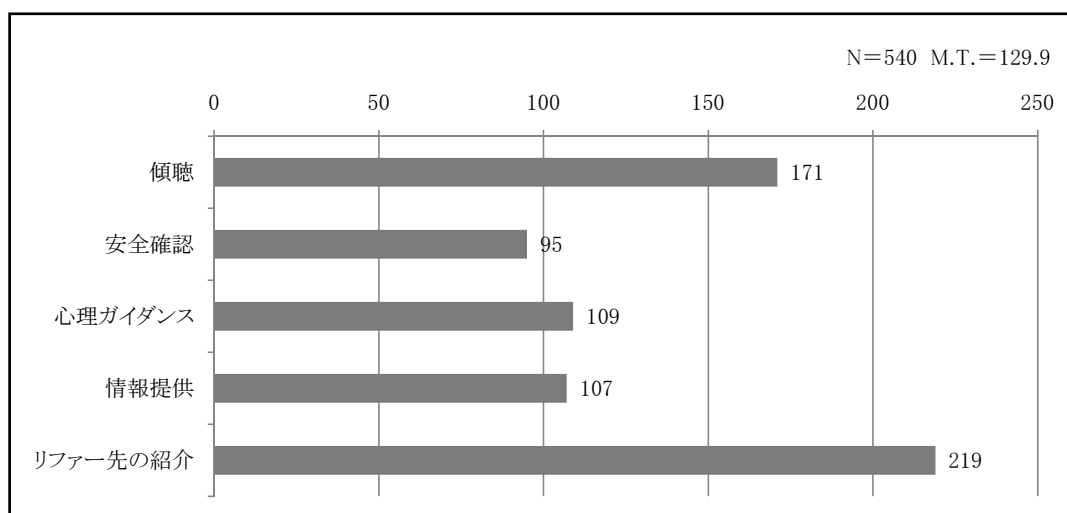
※相談の経験と警察への通報、婦人科受診について

警察に相談した経験があるのは 13 件である一方、警察へ通報済みの件数は 205 件であった。また医療関係者に相談した経験があるのは 12 件である一方、婦人科受診済みの件数は 69 件であった。この差は、警察や医療機関に「通報」「受診」したが、「相談」は行わなかったと考えている相談者が多かったからであると考えられる。

ケ パープルダイヤルを通じておこなった支援の内容

パープルダイヤルを通じておこなった支援の内容は、「リファーマの紹介」219 件（40.6%）が最も多く、次いで、「傾聴」171 件（31.7%）、「心理ガイダンス」109 件（20.2%）となっている。

図 3－7 支援の内容（複数回答）



紹介した相談窓口、支援窓口としては、「男女共同参画センター」48件（21.9%）が最も多く、次いで、「性暴力被害者支援民間団体」41件（18.7%）、「法テラス」37件（16.9%）、「警察相談窓口」16件（7.3%）となっている。

表3-17 紹介した相談窓口、支援窓口（リファー先）

	件数	%
男女共同参画センター	48	21.9
配偶者暴力相談支援センター	6	2.7
婦人相談所	11	5.0
福祉事務所	2	0.9
配偶者暴力被害者支援民間団体	3	1.4
ステップハウス	1	0.5
性暴力被害者支援民間団体	41	18.7
医療機関	7	3.2
児童相談所・子ども家庭支援センター	8	3.7
保健所	2	0.9
精神保健福祉センター	3	1.4
いのちの電話	1	0.5
カウンセリングルーム等	7	3.2
警察相談窓口	16	7.3
犯罪被害者ホットライン	1	0.5
法テラス	37	16.9
弁護士会・弁護士	4	1.9
犯罪被害者支援センター	3	1.4
セクハラ相談窓口	2	0.9
労働組合・女性ユニオン	1	0.5
その他	12	5.5
不明・無記入	3	1.4
合計	219	100.0

コ 来所相談

急性期の性暴力被害女性向け回線では、相談者本人が希望する場合には、対面で相談を受ける来所相談を行い、相談期間中、7件の来所相談を行った。

表 3－18 来所相談年代内訳

	件数
10 代	1
20 代	4
30 代	0
40 代	1
50 代	0
60 代	1
合計	7

表 3－19 被害の時期

	件数
72 時間以内	2
1 時間以内	1
1 週間以上前	3
不明・無記入	1
合計	7

4 男性相談者向け回線の集計と分析

男性相談者向け回線には、配偶者からの暴力に関する相談 312 件、その他の相談が 1,066 件寄せられた。

表 4－1 男性相談者向け回線の相談状況

	全体		配偶者暴力	その他
	件数	%	件数	件数
相談	1,378	76.0	312	1,066
無言・いたずら・苦情等	436	24.0	—	—
合計	1,814	100.0	—	—

(1) 配偶者からの暴力に関する相談

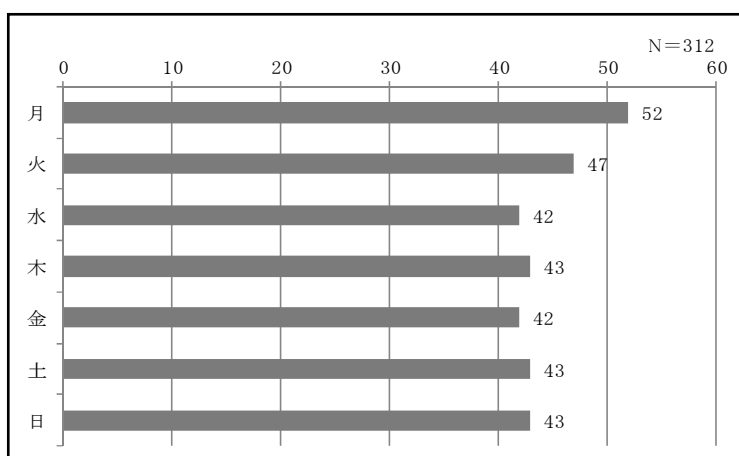
ア 曜日別相談件数

曜日別の相談件数については、相談曜日に明確な傾向は見られなかった。

表 4－2 曜日別相談件数

	件数	%
月	52	16.7
火	47	15.1
水	42	13.5
木	43	13.8
金	42	13.5
土	43	13.8
日	43	13.8
合計	312	100.0

図 4－1 曜日別相談件数



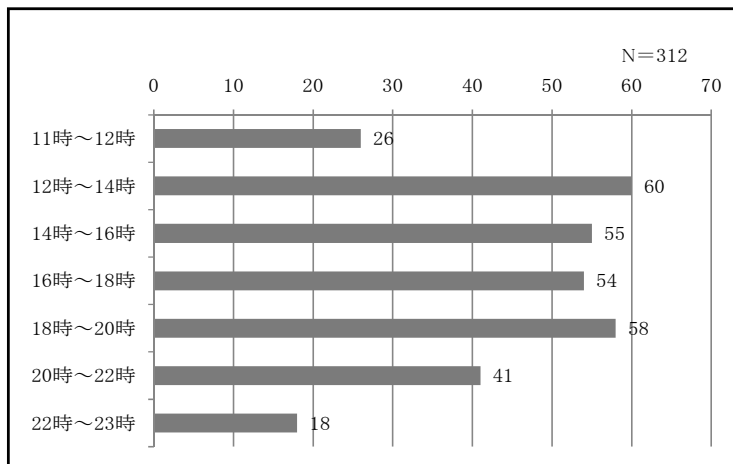
イ 相談開始時刻

相談開始時刻については、「10 時～12 時」は平日の 11 時から 12 時のみの相談受付であり、「22 時～23 時」は 23 時までの相談受付であることを考慮すると、相談開始時刻について大きな差は無い。

表 4－3 相談開始時刻

	件数	%
11 時～12 時	26	8.3
12 時～14 時	60	19.2
14 時～16 時	55	17.6
16 時～18 時	54	17.3
18 時～20 時	58	18.6
20 時～22 時	41	13.1
22 時～23 時	18	5.8
合計	312	100.0

図 4－2 相談開始時刻



ウ 使用電話

相談者が利用した電話は、「固定電話」が 70 件（22.4%）、「携帯電話」が 153 件（49.0%）、「公衆電話」が 1 件（0.3%）となっており、「携帯電話」が「固定電話」よりも多く利用されている。

表 4－4 使用電話

	件数	%
固定電話	70	22.4
携帯電話	153	49.0
公衆電話	1	0.3
不明・無記入	88	28.2
合計	312	100.0

エ 相談経路

どのような経路でパープルダイヤルにつながったかについては、「自分で見つけた」が 172 件 (55.1%)、「紹介された」が 9 件 (2.9%) となっている。

「自分で見つけた」場合の経路は、「テレビ」が 82 件 (47.7%) と半数近くになっており、その他「インターネット」が 42 件 (24.4%)、「ラジオ」が 21 件 (12.2%)、「新聞」が 12 件 (7.0%)、「交通広告」が 1 件 (0.6%) となっている。

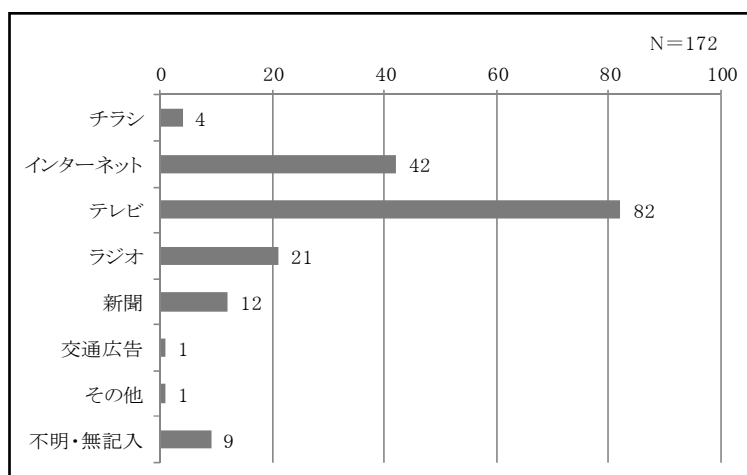
表 4－5 相談経路

	件数	%
紹介された	9	2.9
自分で見つけた	172	55.1
不明・無記入	131	42.0
合計	312	100.0

表 4－6 相談経路（自分で見つけた）

	件数	%
チラシ	4	2.3
インターネット	42	24.4
テレビ	82	47.7
ラジオ	21	12.2
新聞	12	7.0
交通広告	1	0.6
その他	1	0.6
不明・無記入	9	5.2

図 4－3 相談経路（自分で見つけた）



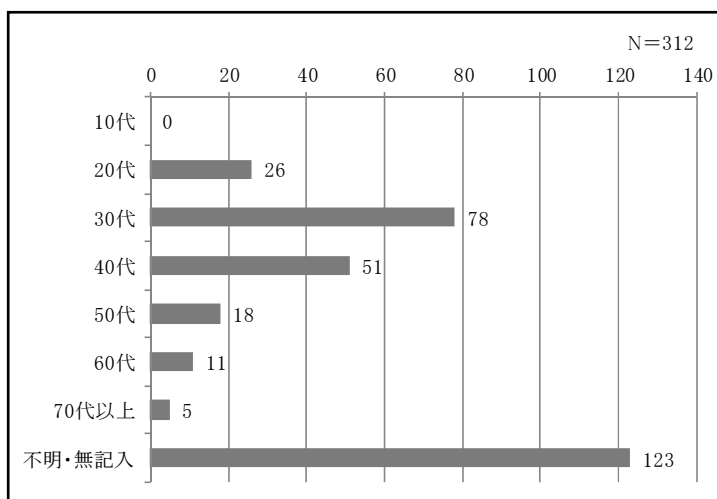
オ 相談者の年代

相談者の年代は、「30代」が78件（25.0%）、「40代」が51件（16.3%）となっており、この2つで全体の41.3%になっている。

表4－7 年代別相談件数

	件数	%
10代	0	0
20代	26	8.3
30代	78	25.0
40代	51	16.3
50代	18	5.8
60代	11	3.5
70代以上	5	1.6
不明・無記入	123	39.4
合計	312	100.0

図4－4 年代別相談件数



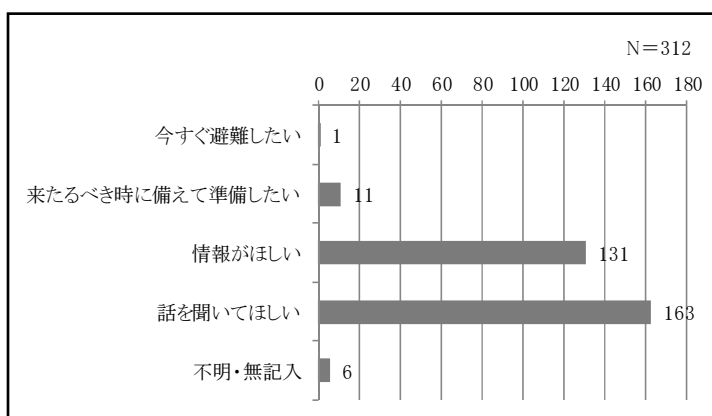
カ 主訴（相談の目的）

主訴は、「話を聞いてほしい」163件（52.2%）が最も多く、次いで、「情報がほしい」131件（42.0%）となっている。一方で「来るべき時に備えて準備したい」は11件（3.5%）、「今すぐ避難したい」は、1件（0.3%）であった。

表4－8 主訴別相談件数

	件数	%
今すぐ避難したい	1	0.3
来たるべき時に備えて準備したい	11	3.5
情報がほしい	131	42.0
話を聞いてほしい	163	52.3
不明・無記入	6	1.9
合計	312	100.0

図4－5 主訴別相談件数



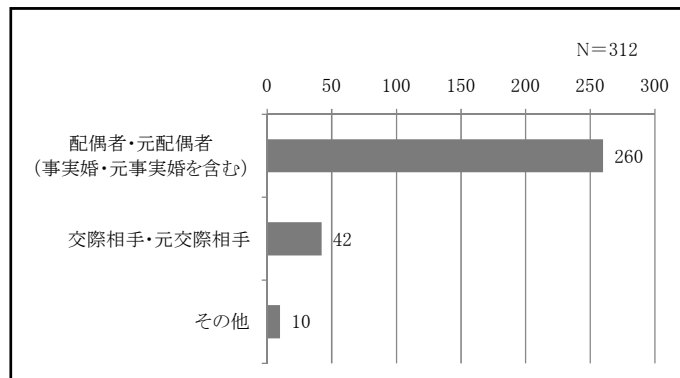
キ 被害者と加害者との関係

被害者と加害者との関係は、「配偶者・元配偶者（事実婚・元事実婚を含む）」が 260 件（83.3%）、
「交際相手・元交際相手」42 件（13.5%）となっている。

表 4－9 加害者との関係

	件数	%
配偶者・元配偶者 （事実婚・元事実婚を含む）	260	83.3
交際相手・元交際相手	42	13.5
その他	10	3.2
合計	312	100.0

図 4－6 加害者との関係



ク 暴力の形態

暴力の形態は、「精神的攻撃」204 件（65.4%）が最も多く、次いで、「身体的暴行」125 件（40.1%）、
「性的強要」43 件（13.8%）となっている。

表 4－10 暴力の形態（複数回答）

	身体的暴行		精神的攻撃		性的強要	
	件数	%	件数	%	件数	%
あり	125	40.1	204	65.4	43	13.8
なし	185	59.3	106	34.0	267	85.6
不明・無記入	2	0.6	2	0.6	2	0.6
合計	312	100.0	312	100.0	312	100.0

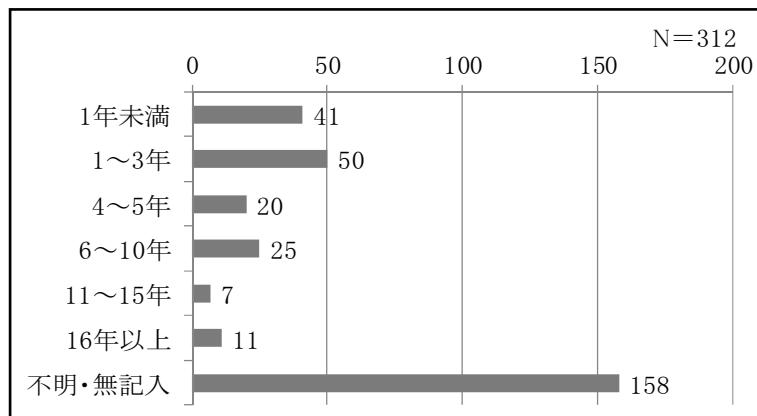
ケ 暴力の継続年数

暴力をふるわれた継続年数は、「1年未満」が41件（13.1%）、「1～3年」が50件（16.0%）となっており、約3割（29.2%）が3年以内であった。

表4-11 暴力の継続年数

	件数	%
1年未満	41	13.1
1～3年	50	16.0
4～5年	20	6.4
6～10年	25	8.0
11～15年	7	2.2
16年以上	11	3.5
不明・無記入	158	50.6
合計	312	100.0

図4-7 暴力の継続年数



コ 相談者の状況

相談者のうち子どもが「あり」は72件（23.1%）、子どもが「なし」は17件（5.4%）となっている。

表4-12 子どもの有無

	件数	%
あり	72	23.1
なし	17	5.4
不明・無記入	223	71.5
合計	312	100.0

サ 暴力による身体的・精神的影響

暴力による身体的・精神的影響は、「不安」79件（25.7%）、「不眠」44件（14.3%）、「うつ」35件（11.4%）、「低い自己肯定感」27件（8.8%）、「パニック発作」20件（6.5%）、「PTSD」17件（5.5%）となっている。

表4-13 暴力による身体的・精神的影響（複数回答）

N=312 M.T.=119.7

	件数	%
不安	53	17.0
うつ	40	12.8
低い自己肯定感	26	8.3
不眠	20	6.4
PTSD	7	2.2
自殺企図	7	2.2
薬が離せない	4	1.3
パニック発作	4	1.3
子どもへの虐待	3	1.0
体の痛み	1	0.3
めまい	1	0.3
体重の増減	1	0.3
食欲不振	1	0.3
不明・無記入	206	66.0

シ 加害者の年代

加害者の年代を見ると、30 歳代が 12.8%で最も多く、ついで 20 歳代・40 歳代が 8%前後で続く。

表 4－14 加害者の年代

	件数	%
10 代	1	0.3
20 代	23	7.4
30 代	40	12.8
40 代	25	8.0
50 代	11	3.5
60 代	9	2.9
70 代以上	3	1.0
不明・無記入	200	64.1
合計	312	100.0

ス パープルダイヤルより以前に支援を受けた経験

パープルダイヤルより以前に「支援を受けた経験がある」は 17 件（5.4%）、「支援を受けた経験がない」は 45 件（14.7%）であった。

表 4－15 支援を受けた経験の有無

	件数	%
あり	17	5.4
なし	84	26.9
不明・無記入	211	67.6
合計	312	100.0

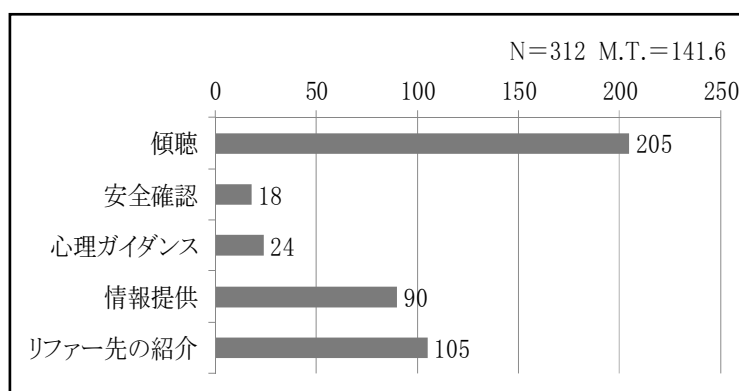
セ パープルダイヤルを通じておこなった支援の内容

パープルダイヤルを通じておこなった支援の内容は、「傾聴」205件（46.4%）が最も多く、次いで、「リファー先の紹介」105件（23.7%）、「情報提供」90件（20.4%）、「心理ガイダンス」24件（5.4%）となっている。

表4-16 支援の内容（複数回答）

	件数	%
傾聴	205	46.4
安全確認	18	4.1
心理ガイダンス	24	5.4
情報提供	90	20.4
リファー先の紹介	105	23.7

図4-8 支援の内容（複数回答）



紹介した相談窓口、支援窓口は、「男女共同参画センター」30件（28.6%）が最も多く、次いで、「法テラス」20件（19.0%）、「配偶者暴力相談支援センター」「精神保健福祉センター」15件（14.3%）となっている。

表4-17 紹介した相談窓口、支援窓口（リファー先）

	件数	%
男女共同参画センター	30	28.6
配偶者暴力相談支援センター	15	14.3
婦人相談所	2	1.9
福祉事務所	2	1.9
児童相談所・子ども家庭支援センター	2	1.9
保健所	2	1.9
精神保健福祉センター	15	14.3
カウンセリングルーム等	2	1.9
警察相談窓口	6	5.7
法テラス	20	19.0
弁護士	2	1.9
ハローワーク	1	1.0
男性相談	3	2.9
その他	3	2.9
合計	105	100.0

(2) 配偶者からの暴力以外の相談

ア 相談内容別相談件数

男性相談者向け回線には、配偶者からの暴力以外に、以下のような様々な相談が1,066件寄せられた。

- ・日常生活に関わる不安、問題、悩み（半数程度）
- ・加害に関する悩み
- ・性にまつわる悩み、不安
- ・夫婦関係、男女関係に関する（暴力以外の）悩み、不満、愚痴
- ・うつなど精神科領域の病気を抱えていてつらい、死にたい、など
- ・社会や会社への不満を聞いてほしい、など

表4-18 相談内容別相談件数

	件数	%
強姦・強制わいせつ、セクハラ、ストーカー行為	183	17.2
その他	883	82.8
合計	1,066	100.0

イ パープルダイヤルを通じておこなった支援の内容

パープルダイヤルを通じておこなった支援の内容は、「傾聴」722件（31.9%）が最も多く、次いで、「リファー先の紹介」202件（20.5%）、「情報提供」187件（17.9%）となっている。

表4-19 支援の内容（複数回答）

N=1,066 M.T. = 123.8

	件数	%
傾聴	722	67.7
安全確認	21	2.0
心理ガイダンス	77	7.2
情報提供	187	17.5
リファー先の紹介	202	18.9
付添支援紹介	2	0.2
他回線案内／転送	4	0.4
不明・無記入	105	9.9

紹介した相談窓口、支援窓口は、「男女共同参画センター」38件（18.8%）が最も多く、次いで、「法テラス」36件（17.8%）、「男性相談」35件（17.3%）、「精神保健福祉センター」28件（13.9%）となっている。

表4-20 紹介した相談窓口、支援窓口（リファー先）

	件数	%
男女共同参画センター	38	18.8
配偶者暴力相談支援センター	5	2.5
福祉事務所	3	1.5
医療機関	1	0.5
児童相談所・子ども家庭支援センター	4	2.0
保健所	5	2.5
精神保健福祉センター	28	13.9
いのちの電話	2	1.0
警察相談窓口	12	5.9
犯罪被害者ホットライン	3	1.5
法テラス	36	17.8
弁護士会・弁護士	3	1.5
犯罪被害者支援センター	4	2.0
ハローワーク	4	2.0
労働組合・女性ユニオン	7	3.5
セクシャルマイノリティ相談民間団体	2	1.0
男性相談窓口・男性相談民間団体	35	17.3
その他	9	4.5
不明・無記入	1	0.5
合計	202	100.0

5 外国人相談者向け回線の集計と分析

外国人相談者向け回線には、配偶者からの暴力に関する相談 309 件、その他の相談が 669 件寄せられた。

表 5－1 外国人相談者向け回線の相談状況

	全体		配偶者暴力	その他
	件数	%	件数	件数
相談	879	89.9	309	572
無言・いたずら・苦情等	99	10.1	—	—
合計	978	100.0	—	—

使用言語は、日本語を除くとタイ語が 213 件（24.2%）と最も多く、次いで、タガログ語 143 件（16.3%）、中国語 80 件（9.1%）となっている。

表 5－2 外国人相談者向け回線における相談の使用言語

	全体	英語	タガログ語	タイ語	中国語	韓国語	スペイン語	日本語	不明
件数	879	69	143	213	80	10	19	276	69
%	100.0	7.9	16.3	24.2	9.1	1.1	2.2	31.4	7.9

相談者の性別は、女性 772 件（87.8%）、男性 103 件（11.7%）となっている。

表 5－3 相談者の性別

	件数	%
女性	772	87.8
男性	103	11.7
不明	4	0.5
合計	879	100.0

(1) 配偶者からの暴力に関する相談

ア 曜日別相談件数と相談開始時刻

曜日別の相談件数については、相談曜日に明確な傾向はみられなかった。

相談開始時刻については、「14 時～16 時」が若干多かった。

表 5－4 曜日別相談件数

	件数	%
月	44	14.3
火	51	16.6
水	42	13.7
木	60	19.5
金	43	14.0
土	34	11.1
日	33	10.7
合計	307	100.0

表 5－5 相談開始時刻

	件数	%
9 時～10 時	23	7.5
10 時～12 時	45	14.7
12 時～14 時	37	12.1
14 時～16 時	68	22.1
16 時～18 時	44	14.3
18 時～20 時	48	15.6
20 時～21 時	42	13.7
合計	307	100.0

イ 使用電話

相談者が利用した電話は、「固定電話」が 37 件（12.1%）、「携帯電話」が 164 件（53.4%）となっており、「携帯電話」が「固定電話」よりも多く利用されている。

表 5－6 使用電話

	件数	%
固定電話	37	12.1
携帯電話	164	53.4
不明・無記入	106	34.5
合計	307	100.0

ウ 相談経路

どのような経路でパープルダイヤルにつながったかについては、他の回線では「自分で見つけた」が大きな割合を占め、「紹介された」割合は非常に低かったが、外国人相談者向け回線では、「紹介された」が115件（37.5%）と、「自分で見つけた」69件（22.5%）を大きく上回った。また、「紹介された」場合の紹介もとは、民間団体や知人・友人が多くなっている。

表5-7 相談経路

	件数	%
紹介された	115	37.5
自分で見つけた	69	22.5
不明・無記入	123	40.1
合計	307	100.0

表5-8 相談経路（紹介された） N=115

	件数	%
地方公共団体等	15	13.0
配偶者暴力相談支援センター	5	4.3
民間団体	31	27.0
友人	37	32.2
知人	23	20.0
その他	4	3.5

「自分で見つけた」場合の経路は、「チラシ」が15件（21.7%）、「雑誌」14件（20.3%）、「インターネット」が13件（18.8%）、「テレビ」12件（17.4%）となっている。

表5-9 相談経路（自分で見つけた） N=69

	件数	%
チラシ	15	21.7
インターネット	13	18.8
テレビ	12	17.4
新聞	7	10.1
雑誌	14	20.3
不明・無記入	8	11.6
合計	69	100.0

エ 相談者の年代

相談者の年代は、「20代」、「30代」「40代」で全体の約4割（41.0%）を占める。

表5-10 相談者年代

	件数	%
10代	2	0.7
20代	23	7.5
30代	61	19.9
40代	42	13.7
50代	4	1.3
60代	1	0.3
不明・無記入	174	56.7
合計	307	100.0

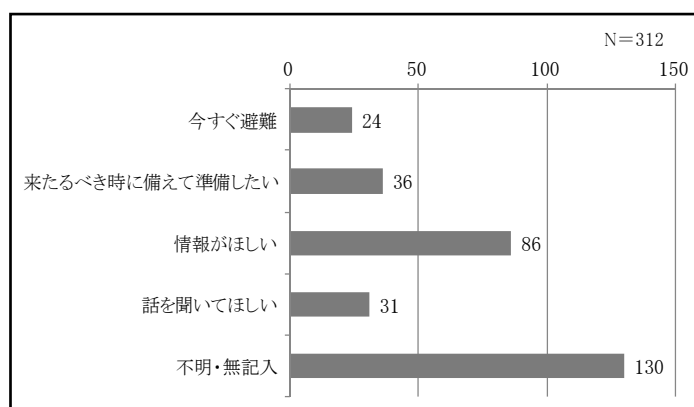
オ 主訴（相談の目的）

主訴は、「情報がほしい」86件（28.0%）が最も多かった。他の相談で割合が高い傾向にある「話を聞いてほしい」が31件（10.1%）と、他の相談と比較して低くなっている。

表5-11 主訴別相談件数

	件数	%
今すぐ避難	24	7.8
来たるべき時に備えて準備したい	36	11.7
情報がほしい	86	28.0
話を聞いてほしい	31	10.1
不明・無記入	130	42.4
合計	307	100.0

図5-1 主訴別相談件数



カ 被害者と加害者との関係

被害者と加害者との関係は、「配偶者・元配偶者（事実婚・元事実婚を含む）」が 229 件（74.6%）、「交際相手・元交際相手」は 8 件（2.6%）となっている。

表 5－12 加害者との関係

	件数	%
配偶者・元配偶者 （事実婚・元事実婚を含む）	229	74.6
交際相手・元交際相手	8	2.6
その他	4	1.3
不明・無記入	66	21.5
合計	307	100.0

キ 暴力の形態

暴力の形態は、「精神的攻撃」が 154 件（50.2%）が最も多く、次いで、「身体的暴行」151 件（49.2%）、「性的強要」 29 件（9.4%）となっている。

表 5－13 暴力の形態（複数回答）

	身体的暴行		精神的攻撃		性的強要	
	件数	%	件数	%	件数	%
あり	151	49.2	154	50.2	29	9.4
なし、不明・無記入	156	50.8	153	49.8	278	90.6
合計	307	100.0	307	100.0	307	100.0

ク 暴力の継続年数

暴力をふるわれた継続年数は、「1～3年」が45件（14.7%）と最も多い。10年間以上暴力を受けているのは5件（0.3%）となっている。

表5-14 暴力の継続年数

	件数	%
1年未満	25	8.1
1～3年	45	14.7
4～5年	18	5.9
6～10年	25	8.1
11～15年	4	1.3
16年以上	1	0.3
不明・無記入	189	61.6
合計	307	100.0

ケ 相談者の状況

相談者のうち加害者と「同居」しているが28件（9.1%）、「別居」しているが20件（6.5%）、就労については「あり」が43件（14.0%）、「なし」が38件（12.4%）、収入「あり」が25件（8.1%）、「なし」が20件（6.5%）となっている。

表5-15 生活形態

	件数	%
同居	28	9.1
別居	20	6.5
不明・無記入	259	84.4
合計	307	100.0

表5-16 就労の有無

	件数	%
あり	43	14.0
なし	38	12.4
不明・無記入	226	73.6
合計	307	100.0

表5-17 収入の有無

	件数	%
あり	25	8.1
なし	20	6.5
不明・無記入	262	85.3
合計	307	100.0

相談者のうち子どもが「あり」は93件（30.3%）、子どもが「なし」は26件（8.5%）となっている。また、在留資格が「あり」は65件（21.2%）、「なし」は1件（0.3%）となっている。

表5-18 子どもの有無

	件数	%
あり	93	30.3
なし	26	8.5
不明・無記入	188	61.2
合計	307	100.0

表5-19 在留資格の有無

	件数	%
あり	65	21.2
なし	1	0.3
不明・無記入	241	78.5
合計	307	100.0

コ 暴力による身体的・精神的影響

暴力による身体的・精神的影響は、「不安」79件（25.7%）、「不眠」44件（14.3%）、「うつ」35件（11.4%）、「低い自己肯定感」27件（8.8%）、「パニック発作」20件（6.5%）、「PTSD」17件（5.5%）となっている。

表5-20 暴力による身体的・精神的影響（複数回答）

N=307 M. T. = 160.8

	件数	%
不安	79	25.7
不眠	44	14.3
うつ	35	11.4
低い自己肯定感	27	8.8
パニック発作	20	6.5
PTSD	17	5.5
体の痛み	17	5.5
食欲不振	15	4.9
めまい	11	3.6
体重の増減	8	2.6
自傷行為	9	2.9
子どもへの虐待	7	2.3
その他	7	2.3
不明・無記入	198	64.5

サ パープルダイヤルより以前に支援を受けた経験

パープルダイヤルより以前に「支援を受けた経験がある」は 29 件（9.4%）、「支援を受けた経験がない」は 45 件（14.7%）であった。

表 5－21 支援を受けた経験の有無

	件数	%
あり	29	9.4
なし	45	14.7
不明・無記入	233	75.9
合計	307	100.0

これまでに警察へ通報したことがあるかどうかについて、「あり」は 37 件（12.1%）、「なし」は 15 件（4.9%）となっている。

表 5－22 警察への通報の有無

	件数	%
あり	37	12.1
なし	15	4.9
不明・無記入	255	83.1
合計	307	100.0

シ パープルダイヤルを通じておこなった支援の内容

パープルダイヤルを通じておこなった支援の内容は、「情報提供」98件（31.9%）が最も多く、次いで、「傾聴」63件（20.5%）、「リファー先の紹介」55件（17.9%）となっている。

表5-23 支援の内容（複数回答）

N=307 M.T.=145.2

	件数	%
傾聴	63	20.5
安全確認	28	9.1
心理ガイダンス	26	8.5
情報提供	98	31.9
リファー先の紹介	55	17.9
付添支援紹介	5	1.6
他回線の案内／転送	20	6.5
その他	1	0.3
不明・無記入	150	48.9

紹介した相談窓口、支援窓口は、「婦人相談所」9件（16.4%）が最も多く、次いで、「法テラス」「外国語での相談」8件（14.5%）、「男女共同参画センター」6件（10.9%）となっている。

表5-24 紹介した相談窓口、支援窓口（リファー先）

	件数	%
男女共同参画センター	6	10.9
配偶者暴力相談支援センター	1	1.8
市町村配偶者暴力相談窓口	1	1.8
婦人相談所	9	16.4
福祉事務所	1	1.8
配偶者暴力被害者支援民間団体	2	3.6
警察相談窓口	4	7.3
法テラス	8	14.5
弁護士	4	7.2
外国語での相談	8	14.5
駐日大使館	1	1.8
その他	5	9.1
不明・無記入	5	9.1
合計	55	100.0

(2) 配偶者からの暴力以外の相談

ア 相談内容別相談件数

外国人相談者向け回線には、配偶者からの暴力以外の相談が 572 件寄せられた。これらの相談は、以下のような在日外国人として日本で暮らす中での様々な悩みについてのものであった。

- ・様々な差別や人権に関する悩み
- ・子どもの教育に関する悩み
- ・法的手続きや在留資格に関すること
- ・地域での人間関係に関する悩み

表 5-25 相談内容別相談件数

	件数	%
強姦・強制わいせつ	18	3.1
人身取引	3	0.5
セクハラ	2	0.3
ストーカー行為	2	0.3
その他	547	95.6
合計	572	100.0

イ パープルダイヤルを通じておこなった支援の内容

パープルダイヤルを通じておこなった支援の内容は、「他回線の案内・転送」119 件（20.8%）が最も多く、次いで、「情報提供」57 件（10.0%）、「傾聴」54 件（9.4%）、「リファー先の紹介」42 件（7.3%）となっている。

表 5-26 支援の内容（複数回答）

N=572 M.T.=111.3

	件数	%
傾聴	54	9.4
安全確認	8	1.4
心理ガイダンス	17	3.0
情報提供	57	10.0
リファー先の紹介	42	7.3
付添支援紹介	4	0.7
他回線の案内／転送	119	20.8

紹介した相談窓口、支援窓口は、「弁護士・弁護士会」5件（11.9%）が最も多く、次いで、「婦人相談所」、「法テラス」がともに3件（7.1%）、その後に「福祉事務所」、「駐日大使館」がともに2件（4.8%）で続いている。

表5-27 紹介した相談窓口、支援窓口（リファー先）

	件数	%
婦人相談所	3	7.1
婦人保護施設	1	2.4
福祉事務所	2	4.8
配偶者暴力被害者支援民間団体	1	2.4
医療機関	1	2.4
法テラス	3	7.1
弁護士会・弁護士	5	11.9
ハローワーク	1	2.4
対応民間団体	1	2.4
入国管理局	1	2.4
駐日大使館	2	4.8
その他	11	26.2
不明・無記入	10	23.8
合計	42	100.0

6 付き添い支援の集計と分析

パープルダイヤルにおいては、電話を受けた相談員が、緊急時の安全の確保が必要となる可能性がある」と判断した場合において、相談者が希望する場合には、相談機関等への付き添い支援を行った。

(1) 付き添い支援の紹介と拠点への連絡

相談を通じて電話相談員が付き添い支援の紹介を行ったのは 99 件となった。また、その紹介を受けて被害者が付き添い支援を希望し、電話相談員が付添支援拠点に連絡を行ったのは 54 件となった。

表 6－1 付き添い支援の紹介と拠点への連絡

	相談	付添支援の紹介		付添支援拠点への連絡	
	件数	件数	%	件数	%
①女性相談者向け回線	15,454	84	0.5	28	0.2
②急性期の性暴力被害女性向け回線	2,216	6	0.3	4	0.2
③男性相談者向け回線	1,814	－	－	－	－
④外国人相談者向け回線	978	9	0.9	7	0.7
不明・無記入	－	－	－	15	－
合計	20,462	99	0.5	54	0.3

(2) 付き添い支援の内容

ア 付き添い支援の所要時間

付き添い支援の所要時間は、「2 時間以内」から「4 日以上」まで個々の事案に応じて幅広い対応がとられた。

表 6－2 付き添い支援の所要時間

	件数	%
2 時間以内	11	20.4
～ 6 時間	25	46.3
～12 時間	8	14.8
～ 1 日	5	9.3
～ 2 日	1	1.9
4 日以上	1	1.9
不明・無記入	3	5.6
合計	54	100.0

イ 相談者の年代

相談者の年代は、「30代」が最も多い。

表 6－3 年代別付き添い支援件数

	件数	%
20代	10	18.5
30代	23	42.6
40代	7	13.0
50代	2	3.7
不明・無記入	12	22.2
合計	54	100.0

ウ 付き添い支援先

付き添い支援を行った先は、「市町村配偶者暴力相談窓口」が17件、「被害者支援民間団体」、「医療機関」、「警察相談窓口」がそれぞれ4件となっている。

表 6－4 付き添い支援先

	件数	%
配偶者暴力支援センター	1	1.9
市町村相談窓口	17	31.5
被害者支援民間団体	4	7.4
医療機関	4	7.4
警察相談窓口	4	7.4
家族	2	3.7
友人・知人	2	3.7
その他	6	11.1
不明・無記入	14	25.9
合計	54	100.0

エ 継続的支援

付き添い支援により、保護や付き添い支援先での継続的な相談につながったものは、34 件であった。

表 6－5 継続的支援

		件数	%
継続的支援につながった		34	63.0
	保護	8	14.8
	継続的な相談	17	31.5
	不明・無記入	9	16.7
継続的支援につながらなかった		9	16.7
不明・無記入		11	20.4
合計		54	100.0